

「JLAC10」（日本臨床検査医学会）と「臨床検査マスタ」（MEDIS-DC）の違いについて

◆JLAC10コード（日本臨床検査医学会）とは

日本臨床検査医学会が制定した臨床検査コードのこと。

「JLAC10コードは5つの要素区分よりなり、それぞれ、(1)分析物コード5桁、(2)識別コード4桁、(3)材料コード3桁、(4)測定法コード3桁、(5)結果識別コード2桁の17桁にて生成される。

基本的に“分析物コード”により整理分類され、検査材料あるいは測定法等の別を所定の付加コードとの組み合わせにおいて認識する。

| | |
|---------|---|
| 分析物コード | 検査対象物質による分類を行う。生化学的検査、内分泌学的検査など。 一般検査では、尿一般検査、糞便検査、髄液検査など。 |
| 識別コード | 分析物コードを、検査内容に沿って細分化する必要がある場合、分類しコードを付したもの。 負荷試験時間識別、定性・定量識別、ウイルス識別、アレルゲン識別など。 |
| 材料コード | 検査材料を分類し、コードを付したもの。一般の生体成分分析などと、細胞診・生理機能検査などに使用される、組織の詳細および生体部位がある。 尿、蓄尿、全血、血漿、血清、皮膚、骨、膈、肺、小脳など。 |
| 測定法コード | 測定法を分類し、コードを付したもの。 蛍光抗体法、酵素抗体法、遠心分離法など。 |
| 結果識別コード | 一つの検査項目において結果が単独あるいは複数を問わず、結果表現により分類する。 |

◆臨床検査マスタ（MEDIS-DC）とは

➤ 15桁コード表

JLAC10の結果識別コードを除いた15桁のコード表（依頼項目）であり、JLAC10の4つの要素の組み合わせをマスタにしている。

➤ 17桁コード表

JLAC10の5つの要素の組み合わせによる17桁のコード表（結果項目）をマスタにしている。

両表とも、診療報酬点数情報を付加している。

また、JLAC10要素区分の各コードについて、すべての組み合わせは存在しない。

保険収載項目を主としているため、臨床検査マスタに存在しないコードがある。

無い場合は、オリジナルコードとして、5個の要素区分の1文字目を「Z」とする。採番は、JLAC10の分類に準じる。